

宮城県感染症発生動向調査情報(第24週)

宮城県【平成27年06月18日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

- 2015.6.8 ~ 6.14 ・ 第24週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第21週	第22週	第23週	第24週
水痘	2 0.40	6 0.60	4 0.80		3 1.00		7 3.50	17 0.63	39 0.66	907	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10	2 0.40		1 0.33	1 0.20		3 0.11	9 0.15	185	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	65 13.00	70 7.00	32 6.40	27 13.50	45 15.00	17 3.40	10 5.00	249 9.22	515 8.73	12,037	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	7 1.40	17 1.70	8 1.60			2 0.40		67 2.48	101 1.71	565	○→	○→	◎→	◎
伝染性紅斑	3 0.60	3 0.30	7 1.40		3 1.00	6 1.20	7 3.50	18 0.67	47 0.80	1,187	○→	○→	○→	○
突発性発しん	3 0.60	6 0.60	6 1.20		2 0.67	2 0.40	5 2.50	15 0.56	39 0.66	821	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		1 0.10			2 0.67	2 0.40		3 0.11	8 0.14	37	→	→	→	
インフルエンザ	22 2.75		1 0.13		3 0.60	3 0.38		2 0.05	31 0.33	19,589	○→	◎→	レ→	レ
咽頭結膜熱		9 0.90	2 0.40	9 4.50		33 6.60		14 0.52	67 1.14	567	○→	◎→	◎→	◎
流行性角結膜炎		3 1.00						3 0.50	6 0.50	72	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54 10.80	28 2.80	13 2.60	4 2.00	7 2.33	38 7.60	4 2.00	115 4.26	263 4.46	3,769	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00		1 1.00		6 6.00	2 0.40	10 0.83	169	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症						2 0.40		5 0.19	7 0.12	343	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	10	2	4	1	3		1	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病		1											
	不明発疹症								3	宮城県保健環境センターのホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										76				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第22週		19.5	44.2	14.3	9.1	0.0	1.3	9.1	0.0	2.6	0.0	0.0	77
第23週		41.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	24
第24週		0.0	41.9	41.9	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	31

インフルエンザ定点

小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で95定点となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第22週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.05)、鹿児島県(1.65)、福井県(1.22)が多い。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(1.61)、北海道(1.57)、島根県(1.30)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(7.84)、愛媛県(5.92)、北海道(5.24)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では大分県(17.00)、山形県(14.50)、福井県(13.68)が多い。水痘: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(1.67)、滋賀県(1.06)、富山県(0.90)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では徳島県(11.57)、香川県(6.86)、熊本県(5.52)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では滋賀県(2.78)、埼玉県(1.84)、大分県(1.67)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(1.00)、長野県(0.73)、青森県(0.50)、高知県(0.50)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は2週連続で減少した。31道府県から148例報告があり、年齢別では0歳(12例)、1~4歳(105例)、5~9歳(27例)、10代(2例)、50代(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 大崎管内 男児※1名(第23週)、男性1名
 - 石巻管内 男性1名、女性1名
 - 仙台管内 男性4名、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
 - 仙南管内 女性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 男性1名(第18週)
 - 梅毒
 - 仙台管内 女性1名(第19週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [伝染性紅斑] 気仙沼管内で警報継続中。
- [咽頭結膜熱] 栗原管内で警報値を超えた。石巻管内で警報継続中。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎] 仙南管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より			
	第24週採取分	第23週採取分	第22週採取分
塩釜管内	6件	ノロウイルスGⅡ	6件
栗原管内	1件	ノロウイルスGⅠ	1件
大崎管内	1件	サボウイルス	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 報 告		
	第21週採取分 (5.18~5.24)	中 間 報 告 第22週採取分 (5.25~5.31)	第23週採取分 (6.1~6.7)
RSウイルス	0件	2件	0件
アデノウイルス	1件	0件	0件
ライノウイルス	1件	2件	0件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	2件	2件	9件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	1件

※ パラインフルエンザウイルス3型は、毎年春から初夏にかけて流行し、風邪様症状を示すウイルスです。仙台医療センターウイルスセンターでは、パラインフルエンザウイルス3型の分離が増えています。うがい手洗いなど日常的な予防策に努めてください。

[咽頭結膜熱]

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、アデノウイルスが原因とされます。「プール熱」とも言われ、夏季にピークに達する傾向があります。今週、石巻管内に加え、栗原管内でも警報基準値を超えました。今後の動向に注意が必要です。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

今週、仙南管内で警報基準値を超えました。県全体での患者報告数も4.46と、前週より増加していますので、今後の動向に注意が必要です。